

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	34° 52' 19.00" 135° 25' 04.00"	橋梁ID
三ツ矢橋 (フリガナ)ミツヤバシ	262号	川西市平野字湯之町				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
兵庫県川西市	20191211	河川(塩川)	無	一般道	その他	有(不明)×2

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

内外エンジニアリング株式会社 宗川 剛和

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に 記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅱa	遊離石灰	写真1、床版14			
下部構造		Ⅱa	ひびわれ	写真2、下部工01			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等) 床版に遊離石灰、下部工にひびわれが見られる。
Ⅱa	損傷は軽微であるが、予防的に補修等を行うことにより、長寿命化とライフサイクルコストの縮減につながると考えられる状態。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
201109	15.65m	13.10m
橋梁形式		
単純PCプレテン中空床版橋、逆T式橋台		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1様式2

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(床版)【判定区分: Ⅱa】	下部構造【判定区分: Ⅱa】
<p>写真1 遊離石灰</p>  <p style="text-align: right;">床版14</p>	<p>写真2 ひびわれ</p> 
<p style="text-align: center;">【判定区分: 】</p>	<p style="text-align: center;">【判定区分: 】</p>
Empty space for additional notes or photos	Empty space for additional notes or photos

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	34° 53' 7.02"	橋梁ID
				経度	135° 23' 55.23"	
西畦野沢田2号橋 (フリガナ)ニシウネノサワダ2ゴウバシ		52号線	川西市西畦野字沢田			
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
川西市	2019.12.11	道路	有	一般道	その他	有(不明)×1

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

内外エンジニアリング株式会社 宗川 剛和

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	II b	剥離・鉄筋露出	写真1、主桁01			
	横桁						
	床版						
下部構造		II b	ひびわれ	写真2、下部工01			
支承部							
その他		II b	うき	写真3、地覆01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
II b	主桁に剥離・鉄筋露出、下部工にひびわれ、漏水・遊離石灰、剥離・鉄筋露出、地覆にうきが見られる。損傷が進行しており、計画的に補修を実施する必要がある。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1977年	4m	9.13m
橋梁形式		
単純RCボックスカルバート(床版)橋		






※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱb】	下部構造【判定区分: Ⅱb】
<p>写真</p> <p>写真1: 損傷-材料剥離</p>  <p>写真00</p>	<p>写真</p> <p>写真2: 剥離</p>  <p>写真00</p>
その他(地覆)【判定区分: Ⅱb】	【判定区分: 】
<p>写真3</p> <p>写真3: 剥離</p>  <p>写真00</p>	

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	34° 51' 05.06" 135° 22' 42.26"	橋梁ID
地蔵橋2号橋 (フリガナ)ジゾウバシ2ゴウバシ	市道1708号	川西市若宮字関谷				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
兵庫県川西市	20191211	道路(市道868号線)	有	一般道	その他	有(不明)×1

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

内外エンジニアリング株式会社 宗川 剛和

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	IIb	ひびわれ	写真1、主桁01			
	横桁						
	床版						
下部構造		IIb	ひびわれ	写真2、下部工02			
支承部							
その他		I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
IIb	主桁・下部工にひびわれが見られる。損傷が進行しており、計画的に補修を実施する必要がある。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
199400	3.70m	5.30m
橋梁形式		
単純RC門型ラーメン(床版)橋、重力式橋台		

起点





終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱb】	下部構造【判定区分: Ⅱb】
<p>写真1 ひびわれ</p>  <p>主桁01</p>	<p>写真2 ひびわれ</p> 
【判定区分: 】	【判定区分: 】

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	34° 48' 40.60" 135° 24' 14.50"	橋梁ID
桃源橋 (フリガナ)トウゲンバシ	市道1号	川西市加茂4丁目				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
兵庫県川西市	20200312	道路(高速道路)	有	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

内外エンジニアリング株式会社 宗川 剛和

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱb	剥離・鉄筋露出	写真1、主桁02			
	横桁	Ⅱb	ひびわれ	写真2、横桁02			
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅱb	剥離・鉄筋露出	写真3、下部工01			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱb	剥離・鉄筋露出	写真4、地覆01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱb	主桁と下部工に鉄筋露出、横桁にひびわれ、地覆にうきが見られる。損傷が進行しており、計画的に補修を実施する必要がある。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
197004	40.30m	16.79m
橋梁形式		
単純PCポステン箱桁橋、重力式橋台		

起点







終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱb】	上部構造(横桁)【判定区分: Ⅱb】
<p>写真1 鉄筋露出</p>  <p style="text-align: right;">主桁02</p>	<p>写真2 ひびわれ</p> 
下部構造【判定区分: Ⅱb】	その他(地覆)【判定区分: Ⅱb】
<p>写真3 鉄筋露出</p>  <p style="text-align: right;">下部工01</p>	<p>写真4 剥離・鉄筋露出</p> 

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	34° 48' 40.70" 135° 24' 19.70"	橋梁ID
中大野橋 (フリガナ)ナカオオノバシ	市道9号	川西市加茂4丁目				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
兵庫県川西市	20200312	道路(高速道路)	有	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

内外エンジニアリング株式会社 宗川 剛和

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I					
	横桁						
	床版	II b	漏水・遊離石灰	写真1、床版02(1径間目)			
下部構造		I					
支承部							
その他		II c	剥離・鉄筋露出	写真2、地覆01(2径間目)			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
II b	床版に漏水・遊離石灰、地覆に剥離・鉄筋露出が見られる。損傷が進行しており、計画的に補修を実施する必要がある。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
197004	52.50m	8.70m
橋梁形式		
3径間連続PC斜材付π型ラーメン橋、重力式橋台		

起点





終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(床版)【判定区分: Ⅱb】	その他(地覆)【判定区分: Ⅱc】
<p>写真1 漏水・遊離石灰</p>  <p>床版02 (1径間目)</p>	<p>写真2 剥離・鉄筋露出</p> 
<p>【判定区分: 】</p>	<p>【判定区分: 】</p>

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	34° 52' 58.00" 135° 23' 08.00"	橋梁ID
石道橋 (フリガナ)イシミチバシ	市道2201号	川西市石道				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
兵庫県川西市	20200213	河川(野尻川)	有	一般道	その他	有(不明)×2

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

内外エンジニアリング株式会社 宗川 剛和

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名		判定区分 (I～IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	II b	腐食	写真1、主桁04(2径間目)			
	横桁	I					
	床版	II b	漏水・遊離石灰	写真2、床版02(1径間目)			
下部構造		II b	ひびわれ	写真3、下部工01(2径間目)			
支承部		II b	腐食	写真4、支承201(2径間目)			
その他		I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I～IV)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
II b	主桁と支承に腐食、床版に漏水・遊離石灰、下部工にひびわれが見られる。 損傷の進行が見られるが進行が比較的緩やかなもので、計画的に補修を実施する必要がある状態。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
196504	14.04m	6.80m
橋梁形式		
2径間単純鋼1桁橋、下部工不明		

起点



終点


※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1様式2

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱb】	上部構造(床版)【判定区分: Ⅱb】
<p>写真1 腐食</p>  <p>主桁04 (2径間目)</p>	<p>写真2 漏水・遊離石灰</p> 
下部構造【判定区分: Ⅱb】	支承部【判定区分: Ⅱb】
<p>写真3 ひびわれ</p>  <p>下部工01 (2径間目)</p>	<p>写真4 腐食</p> 

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	34° 49' 17.71"	橋梁ID
				経度	135° 24' 12.37"	
最明寺小橋 (フリガナ)サイミョウジコバシ	28号線	川西市南花屋敷三丁目				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
川西市	2021.7.15	開水路	無	一般道		不明管1条(4本), 不明管1本

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

国際航業株式会社 天野恭介

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	IIc	ひびわれ	写-1 主桁01			
	横桁						
	床版	IIc	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰	写-2 床版02、写-3 床版01			
下部構造		IIb	漏水・遊離石灰	写-4 下部工02			
支承部							
その他		IIa	路面の凹凸	写-5 路面01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)

定期点検時に記録

(判定区分) (所見等)

IIc

主桁、床版にひびわれが生じている。予防保全の観点から計画的速やかに措置を講ずることが望ましい状態。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1967年	5m	5.55m
橋梁形式		
単純RC中実床版橋		



※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載のこと。


○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>写真1</p> <p>上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱc】</p>  <p>主桁01</p>	<p>写真2</p> <p>上部構造(床版)【判定区分: Ⅱc】</p>  <p>床版02</p>
<p>写真3</p> <p>上部構造(床版)【判定区分: Ⅱc】</p>  <p>床版01</p>	<p>写真4</p> <p>下部構造【判定区分: Ⅱb】</p>  <p>下部工02</p>

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>写真5</p>  <p>路面01</p>	<p>【判定区分: 】</p>
<p>【判定区分: 】</p>	<p>【判定区分: 】</p>

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	34° 53' 38.17"	橋梁ID
				経度	135° 24' 34.68"	
鉄橋 (フリガナ)クロガネバシ	2210号線	川西市見野二丁目				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
川西市	2021.9.2	河川(初谷川)	有	一般道		不明管2本、不明管1条(6本)

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

国際航業株式会社 天野恭介

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	I					
	横桁						
	床版	IIc	漏水・遊離石灰	写真1、床版02			
下部構造		IIa	漏水・遊離石灰	写真2、下部工02			
支承部							
その他		IIa	路面の凹凸	写真3、路面01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
IIc	床版から漏水・遊離石灰が生じている。予防保全の観点から計画的速やかに措置を講ずることが望ましい状態。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1959年	13m	6.24m
橋梁形式		
単純PCプレテン床版橋		






※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>写真1</p> <p>上部構造(床版)【判定区分: Ⅱc】</p>  <p>床版02</p>	<p>写真2</p> <p>下部構造【判定区分: Ⅱa】</p>  <p>下部工02</p>
<p>写真3</p> <p>その他(路面)【判定区分: Ⅱa】</p>  <p>路面01</p>	<p>【判定区分: 】</p>

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	34° 53' 44.8"	橋梁ID
				経度	135° 25' 10.71"	
上浦橋 (フリガナ)ウエウラバシ	777号線	川西市笹部三丁目				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
川西市	2021.7.7	開水路	無	一般道		無

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)				定期点検者	国際航業株式会社 天野恭介	
定期点検時に記録				応急措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	IIc	腐食	写-1 主桁04		
	横桁	IIa	腐食	写-2 横桁01		
	床版	I				
下部構造	I					
支承部	IIc	腐食	写-3 支承204			
その他	I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)	
定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
IIc	主桁及び支承に腐食が生じている。予防保全の観点から計画的速やかに措置を講ずることが望ましい状態。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1964年	8m	2.50m
橋梁形式		
単純鋼H形鋼(不明)橋		



※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>写真1</p> <p>上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱc】</p>  <p>主桁04</p>	<p>写真2</p> <p>上部構造(横桁)【判定区分: Ⅱa】</p>  <p>横桁01</p>
<p>写真3</p> <p>支承部【判定区分: Ⅱc】</p>  <p>支承204</p>	<p>【判定区分: 】</p>

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	34° 53' 6.3"	橋梁ID
				経度	135° 24' 51.67"	
畦野第1跨線橋 (フリガナ)ウネノダイイチコセンキョウ		602号線	川西市東畦野二丁目			
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
川西市	2022.11.15	鉄道(能勢電鉄妙見線)、道路	有	一般道		不明管 1本

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入) 定期点検者 日本工営都市空間(株) 渡邊清治

定期点検時に記録				応急措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	II b	漏水・遊離石灰、剥離・鉄筋露出、うき	写真1、主桁03(4径間)		
	横桁	II c	PC定着部の異常、剥離・鉄筋露出	写真2、横桁03(5径間)		
	床版	II c	剥離・鉄筋露出	写真3、床版01(5径間)		
下部構造	II b	ひびわれ	写真4、下部工01(7径間)			
支承部	I					
その他	I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~ IV)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
II c	主桁、横桁、床版、下部工に剥離・鉄筋露出が見られ、道路橋の機能に支障はないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1978年	156m	10.0m
橋梁形式		
3径間連続RC中空床版橋×2+RC中空床版橋×2+PCプレテンT桁橋×2+PCプレテン中空床版橋		



※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>写真1</p> <p>上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱb】</p> <p>漏水・遊離石灰、剥離・鉄筋露出、うき</p>  <p>主桁03(4径間)</p>	<p>写真2</p> <p>上部構造(横桁)【判定区分: Ⅱc】</p> <p>剥離・鉄筋露出</p>  <p>横桁03(5径間)</p>
<p>写真3</p> <p>上部構造(床版)【判定区分: Ⅱc】</p> <p>剥離・鉄筋露出</p>  <p>床版01(5径間)</p>	<p>写真4</p> <p>下部構造【判定区分: Ⅱb】</p> <p>ひびわれ</p>  <p>下部工01(7径間)</p>